

2024

June

317号



あもい

●社会医療法人創和会会報誌はあもい / 発行 理事長 重井文博
令和6年6月1日発行

創和会創立66周年を迎えて

理事長 重井 文博

本日創立より66周年を迎えることができましたのは、多くの関係者の皆さま、そして全職員の並々ならぬ努力と協力の賜物と心より感謝いたします。過去を振り返ることはしない、反省もしない主義（と言うかそんな余裕は無かった！）なのですが、創和会施設の遠い過去については知る職員も随分と少なくなったと寂しく感じており、今回はあえて私の知るエピソードを、当時のフォトをめくりながら話します。そして次の時代に向かいたいと思います。



昭和30年は私の生まれた年ですが、その年に初代理事長重井博の診療所「重井内科」が今のしげい病院のかなり駅寄りに誕生しました。右後ろの家屋が私の生まれ育った借家で、つまり診療所とその周りが小4までの私の遊び場であったわけです。その後、重井内科は現在地に移転しましたが、つい4、5年前まで、抹茶アイスのブームになる前から、その美味しい「お茶の常照園」として診療所の外見がだいたい残っていました。それも今や無しです。

1955（昭和30年）創和会の前身、重井内科



往診に向かう 重井博前理事長



このスクーターは 1950 年代のイタリア製「ベスパ」であったと信じています。映画「ローマの休日」アン王女（オードリー・ヘプバーン）とアメリカ人記者ブラッドレー（グレゴリー・ペック）の相乗りシーンは有名ですが、あれはベスパです。よって私がオードリーのファンであることは必然です。そしてオードリーは晩年、ユニセフ大使でしたから、私もユニセフ支援です。後ろ座席で捕虫網を抱えて採集に行ったことを覚えています。診療所には何人が看護婦さんがいましたが、当時は住み込みで、後ろの家で一緒に生活の時期がありました。

1958（昭和33年）5月12日 重井病院を倉敷市幸町に開院 医療法人創和会スタート



診療所開設から3年たらず、医療法人を立ち上げて病院に。場所は移転して、現在のしげい病院の位置に。自宅は診療所裏のままでしたので、私の記憶には無いです。当時、民間の病院

はまだ珍しい存在で、それだけ今では想像できない内容の苦労があった様です。

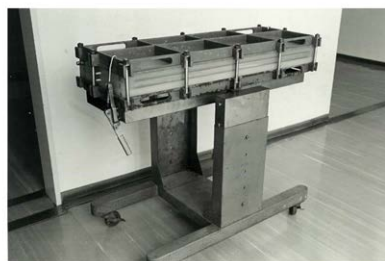
1962年（創立4年）重井病院、4階に昆虫館



医療法人創和会のスタート4年目には当初建物の後ろに新病棟を増設。フォトには映っていませんが、洋風の池のある芝庭にヒマラヤ杉が植えられていたのを覚えています。今の正面玄関の南横にある大きな杉がそうなら、樹齢62年を超えていることとなります。背が高くなりすぎて倒木の危険があり、やむなく三分の二ほどに背を小さくしましたが、とても残念に思っています。同時に、新病棟の4階屋上には、おそらくは今も世界に一つの病院の中にある昆虫研究博物館「倉敷昆虫館」が開館しました。

同館の歴史も62年ということとなります。

1968年（創立10年） キール型人工透析装置 県内初 重井病院に

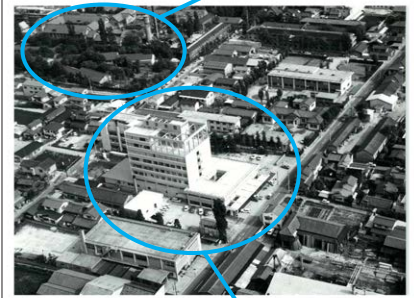


フォトは初代導入のアメリカ製人工透析装置で、今も保管しています。尿毒症イコール致死の病であったあの時代、救命のための画期的な最新医療であっ

たわけですが台数は少なく、又その操作方法は今では想像もつかないほど難しく、例えば透析膜を手で張るといったことを聞いています。

1970年（創立12年）

倉敷中央病院



しげい病院

創立12年に全館を立て替えて8階建てとなり、その後約30年の間はこの建物となりました。その間に重井医学研究所及び同附属病院を開設したこととなります。フォト左上に、当時から広大な緑多い敷地に平屋建て赤煉瓦の多数棟、シンボルカラーである赤い屋根の倉敷中央病院が見えています。中央病院は私にとってはコオロギやカマキリ、バッタの宝庫。当時から院内に大きな温室があり、倉敷青陵高校生には、デートコースだったと先輩から聞いています。

1970年（創立12年） 重井病院 人工腎臓センター開設



センター開設時の情景ですが、装置の台数が増え、先ほどのキール型装置ではなくなっているのが判ります。フォトもカラーですね。

創始者 重井博理事長



- 自然環境保護
1962年 昆虫館
1964年 植物園
- 腎臓病の解明
1978年 研究所

かなり時代をさかのぼって、おそらくは三十歳台の父のフォトですが、終戦まもない岡山大学病院時代、あるいは倉敷中央病院での研修医の頃ではないかと思えます。カッコつけてますね。開業ではなく、野口英世博士にあこがれて研究者になりたかった様です。あまり会話のなかったことを悔やんでいます。博士の生地、会津若松を何度か訪れていたとか。そのせいではないですが、私も奥会津只見の有床診療所に大学派遣で一冬勤務して、積雪3mの豪雪に閉ざされたへき地医療を体験。へき地とはいっても人口五千人に医療機関は実質一軒の医師二人で、そこで大学病院並の医療を提供しようとして、二十四時間多忙でした。そして医師として、とはいっても卒後5年ですが、自分ともう一人の同僚以外に頼る者の無い中、実力の無さを痛感しました。これが縁で今も毎年只見を訪れており、定宿の民宿では「お帰り」と一家総出で言ってくれます。おっと話が逸れました。

1978年（創立20年）
重井医学研究所 開設



研究者になりたかった自身の夢を、民間病院による医学研究

所設立で父は果たそうとしたのだろうと考えています。経営的には今も昔も厳しいですが、腎臓病・モノクローナル抗体の研究所としてその名を腎臓病研究者の中では知られる様になった昨今の姿を見せたかったのですが、きっと「まだまだ夢は道半ば」と言うことでしょう。研究所設立時は自身が透析患者でしたが、「自分は間に合わないけど、バイオ腎臓(?)を移植する時が来る」とか言っていたのを思い出します。

1980年（創立22年）
開院当初の
重井医学研究所と同附属病院



フォトの右下の茶色の建物が研究所、左が設立時の附属病院病棟、真ん中が今も同じ建物で1階外来棟と2階透析センターです。私が神奈川県から帰郷したのは1996年。最初の3年は附属病院勤務でその後倉敷の重井病院に異動しましたが、その時にできた職場の仲間は今も貴重な存在であり、感謝しています。

1998年（創立40年） 創I計画

理念
「生きることの尊さと健康であること
の幸せを、すべての人と共に」

シンボルマーク



父の逝去（1996年）から3年、一臨床医から突然経営ノウハウのまったく無いCEOとなり、どうにも行き詰まっていた私は、当時時代の走りであったCI（コー

ポレイトアイデンティティ)計画、すなわち自社のあるべき姿、目指すべきビジョンを示し、内外に発信する、つまりは変革のプロジェクトを、それこそ一か八かで立ち上げました。創業以来、法人の理念として定まったものは無かったのですが、これを機に、過去の父の文書を読み通して「生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に」を選びました。病院としては少々不似合いかもしれませんが、今これには、過去現在未来のどの時代にも不変である医療人の言葉として、ベストセレクトと思っています。

1998年（創立40年） 創I計画

広報誌「はあもにい」発刊

重井病院 改め しげい病院

広報誌「はあもにい」の編集方針は患者向けではなく、複数施設を持つ法人としての内部コミュニケーションツールですが、当初から院外同業の方、及びリクルートをターゲットとして意識して外部にも配信し、大きな変化もさせず現在にいたっています。ホームページ、現在のSNSも同様に、同業の方の「評価」イコール病院の「評判」、結果「集患」との考えからです。重井病院の重井を漢字からひらがなに変えたのには、大きな意味はありません。

ただただ内部に向かって組織を「変えるぞ」のメッセージとしてインパクトを持たせたかった。他にしいて言えばここだけの話、物心付いた頃からの、「しげい君」を太っていないのに「おもい君」と呼ばれるのがいやであったのです。(笑)

(5月13日 創和会創立66周年記念式典 理事長挨拶より抜粋)

永年勤続者表彰

しげい病院

30年表彰

田中 和美
藤井 暁美
藤原 典子
守屋 由美

20年表彰

那須 聡美
吉川 慶江
三谷 佳子
柴田 直美
重村 広恵
森安 哲也
片桐 洋子
岡 敬子
熊代 博文

10年表彰

富岡 千穂
福田 翔太
清水 賢児
喜久間 美穂子
高畑 弘樹
柳原 祐子
岡 千明
古城 明子
前田 貴昭
有吉 佳奈
岡本 明里
林 由起子
松原 龍也
高原 紗央里
村下 佳
郷原 慎吾
岩崎 ちよ
小見山 和也
中本 美紀
伊藤 麻里子
有馬 里香
寺田 俊多郎
高井 みはる
日笠 敦夫
渡邊 翔子
森安 誠子
水本 裕子
佐野 薫子
市場 巳有紀
東 直也
安東 花奈江
狩屋 千夏

謝辞

永年勤続表彰受賞者 45 名を代表し、一言感謝の言葉を述べさせていただきます。風薫る若葉の季節となりました。記念すべき病院の日・創和会創立記念の日に、永年勤続表彰を受賞することができましたことは、受賞者一同身に余る光栄でございます。

10年、20年、30年と長きにわたり、無事に勤務することができましたのも、理事長・院長をはじめとする諸先生方、先輩、同僚多くの皆さま方のご指導、励ましがあつたからこそだと大変感謝しております。

私が就職してからの30年あまりを振り返りますと、時代の変化とともに、しげい病院における様々な出来事が思い出されます。

平成6年渇水では、高梁川水系でも大きな影響を受け、7月から9月の3か月間、断水や給水制限がありました。そのため、透析時間の短縮や透析液流量の制限を余儀なくされました。

危機的状況の中、透析患者さまがタンクローリー車で水を運んでくださり、無事透析治療を継続することができました。

平成30年7月豪雨では、被災された透析患者を迅速に受け入れ職員一丸となって対応しましたことは、今でも鮮明に印象に残っています。

自然災害の脅威を感じるなか、命を守る責任を全うしたしげい病院の一員であることを誇りに感じたことが思い出されました。

私の目標は患者参加型の災害訓練を行い、災害に強い血液浄化療法センターにすることです。20年以上災害対策に携わる中、当時の同僚や諸先輩方と遅くまで討論し、時には苦しみながら、手探りで災害対策に取り組んで参りました。今後も目標に向かって諦めず取り組んで参りたいと考えています。

私事ではありますが、結婚・出産・子育てと、仕事との両立で大変な時期はありましたが、働きやすい環境や職員の皆さまに支えられ今日があることに大変感謝しております。

創和会は4月から社会医療法人となり、より公益性の高い医療を率先して行うことになりました。「生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に」という創和会の理念とともに、今日という日を新たな出発点とし、地域に貢献できるよう精進する所存でございます。創和会およびしげい病院、そして、10月に開院するしげい腎クリニック早島の益々のご発展を祈念して、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

令和6年5月13日
永年勤続者代表 藤井 暁美



70名の皆さま おめでとうございます

重井医学研究所附属病院

30年表彰

河原 仁美
津村 瑞恵
吉田 伊津枝

20年表彰

熊代 雅文
山田 玲奈
平松 直美
松岡 加津代
竹谷 忍
宮本 順子
井上 有紀
美山 真紀

10年表彰

井並 美季
芦田 良
樋野 彩乃
森 成美
上 祥子
三村 陽子
大野 純貴
山本 真裕
大坂 真衣
梅本 美樹
武 慧美
田淵 千晶
大森 一慶
神足 淳哉

謝辞

青葉若葉のさわやかな季節となりました。本日、創和会創立記念のこの佳き日に、私ども永年勤続者を表彰していただきましたことは身に余る光栄であり、心よりお礼申し上げます。

私どもが今まで長きに渡り勤めてこれましたのも、ひとえに理事長、院長はじめ上司、諸先輩方、同僚、後輩の温かいお力添えがあったからこそと深く感謝しております。

就職してからの30年を振り返りますと、長いようであつという間だったように思います。入職当初は、透析技師として血液浄化療法業務のみに携わっていました。患者とどう接してよいか分からず、また、知識、技術不足から自分の未熟さを痛感し、自己嫌悪に陥ることも度々ありました。手が震え、とても怖い思いをしながら穿刺していたことも昨日のように思い出されます。その後、臨床工学部へと変更となり、血液浄化療法業務のほかに呼吸療法業務、医療機器管理業務、手術室業務、内視鏡業務と様々な業務に携わるようになりました。これからも、高度化する医療機器の進歩に日々研鑽し、安心安全に使用できるよう携わっていきたいと思います。

創和会は、4月に社会医療法人となり10月にはしげい腎クリニック早島が開院します。病院理念である「生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に」を念頭に置きながら、今後もより良い治療を提供できるよう日々精進する所存です。

最後になりましたが、創和会の益々のご発展を祈念してお礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



▲謝辞

令和6年5月13日

永年勤続代表 津村 瑞恵



帰ってきたバレーボール大会

重井医学研究所附属病院 事務部 課長補佐 院内レクリエーション推進カンファレンス事務局 目黒 将志

5月19日(日)に箕島小学校体育館にて約5年ぶりに院内バレーボール大会を開催しました。

大会では、選手と応援、その家族を含めて約100名が参加、チームを6つに分けてトーナメント方式で対戦します。ゴム製のソフトバレーボールを使用するためボールの動きが結構不規則で経験者でも悪戦苦闘。そのため試合は手に汗握る好ゲームが続出。揺れる変幻サーブで10連続得点して試合を決める活躍をする選手がいれば、頭レシーブで得点を決め大爆笑をかささらう新人看護師の猛者もいたり、珍プレー好プレーが入り乱れる大混戦となりました。

準決勝までは2セットマッチで試合を行い同点の場合は、全員でジャンケンをして決着を付けるのですが、6試合中4試合がジャンケン勝負という白熱した展開に会場は大いに盛り上がりました。続く決勝戦では、高い結束力と安定したレシーブ力が武器の入院棟4階チームと、高身長アタッカーを前衛に揃え、中央には安定した守備力を誇るベテランリベロを配置した多職種混合チームが対戦。試合はフルセットまでもつれましたが、多職種混合チー

ムが最後は逃げ切り辛くも勝利。MVPは攻守に果敢なプレーを連発した事務部の片山日向子選手に贈られました。

久しぶりのバレーボール大会でしたが新人からベテランまでみんな大活躍。参加した職員からも「楽しかったです!」との感想をいただき、ハッスルしすぎで明日の仕事は筋肉痛で大丈夫かなと心配しつつ、楽しんでいただけたのならこちらも頑張っ準備した甲斐があったというものです。

今後もレクカンファでは、たくさんのイベントを計画しています。次回のバドミントン大会も多いに盛り上がって行きましょう!



「しげい腎クリニック早島」開院準備～スタッフ研修編～

しげい腎クリニック早島開設準備室 マネジャー 松田 佳子

「しげい腎クリニック早島」が10月開院に向けた準備として、開院メンバーがお互いの病院へ研修に行きました。

4月24日に重井医学研究所附属病院から3名がしげい病院血液浄化療法センターへ、4月25日にしげい病院から2名が重井医学研究所附属病院血液浄化療法センターへ参加しました。

重井医学研究所附属病院スタッフは、透析システムや業務手順についての違いから多くを学び、しげい病院スタッフは、透析コンソールの違いを理解し、習得するための良い機会となりました。今後も計画的に、学ぶべき要点を絞り両院相互研修を継続していきます。

「しげい腎クリニック早島」は、創和会として初の透析専門クリニックです。しげい病院と重井医

学研究所附属病院の支援のもと、お互いの違いを理解し、摺り合わせを行い、両院のメリットを併せ持った、しげい腎クリニック早島ならではのシステムを構築していきたいと考えます。

開院まであと4か月余りとなりました。開院メンバー全員が目標達成に向け一丸となり取り組んでいます。今後も、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



▲重井医学研究所附属病院での研修の様子

健康増進施設はあもにい倉敷 「メディカル講座」について



はあもにい倉敷 支配人 立川 真也 ▲心リハ委員会

はあもにい倉敷では、指定運動療法施設として、生活習慣病予防を運動面から支援することと医療と連携し医学的根拠に基づいた運動プログラムを提供するというを目的に、メディカル講座を開講しています。

講座運営にあたっては、経営統合前からしげい病院内の委員会に参加し、多職種より助言・指導

をいただいています。例えば「心臓リハビリテーション講座」では、しげい病院の心リハ委員会で個々の受講者さんの受講状況

を確認し、そこでの意見・議論を踏まえ、心リハ指導士の有資格者でもある理学療法士が個別プログラムを作成、それを基に健康運動指導士が指導にあたっています。

現在は心リハ講座のほか、「ものわすれ予防講座～コグニサイズで頭と体を鍛える～」を開講中です。受講者さんからは「各専門分野の先生たちが、退院した後も支援してくれているので心強い」「専門機関が開発したプログラムを受けられるのはありがたい」など、うれしい声をいただいています。

今後も社会医療法人の一角を担う施設として、医療との連携を図れる講座を増やしていければと考えています。職員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



▲講座担当の立川支配人と竹井コーチ

幸町記念病院「公式 Instagram アカウト」始動!!

幸町記念病院 事務部 矢吹 静香

この度、幸町記念病院では公式Instagramのアカウントを開設いたしました。

今回のアカウント開設はリクルートへの注力を目的としております。今まではホームページでの広報活動のみでしたが、今後は私たちの生活により身近な SNS 媒体で広報を行っていくことになりました。今やInstagramは日本の SNS 利用者の中で LINE、YouTube に次いで第 3 位の利用率です。その中でも 10～40 代の女性ユーザーが特に多い SNS 媒体といわれています。リクルートを目的とした発信をするには打って付けの媒体です。

幸町記念病院はこのアカウントで、院内の雰囲気や職員の仕事風景、病院独自の取り組み等を発信していきたいと考えています。写真や動画を駆使することで、SNS の中でもよりリアルを伝えることができるツールであるので、ホームページよりは堅苦しくなく親近感を持っていただけるような「病院の今」をお伝えできるよう更新頻度をあげて頑張っていきたいと思っております。

この度の開設にあたりInstagramに対して手探り状態だった私たちをご指導いただいた創和会の SNS 担当者の皆さま、心より感謝申し上げます。幸町記念病院のアカウントに是非いいね♡とフォローをよろしくお願いいたします。



幸町記念病院
公式 Instagram は
こちらから!



催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「乃東枯（なつかれくさがる）
ころの野を楽しむ」日時：6月22日（土）
10：00～12：00

会場：重井薬用植物園

編集後記

●初夏を思わせる晴天の中、4歳の孫にせがまれ公園へ行きました。孫の目的は、虫捕りです。特にテントウムシとダンゴムシがお気に入りのようで目を輝かせて興奮気味に「捕まえたよ。見て、見て」と私のところに走ってきました。触ると丸くなるダンゴムシの不思議に興味をそそられ、孫にとっては魅惑の生き物でした。子育てをしていた頃の懐かしい記憶とともに、孫が命の大切さや生き物への研究心を育むことを願い、終わりにダンゴムシ探しにお付き合いさせていただきました。（MY）

●そろそろゴーヤの季節となりました。だいぶ前の編集後記でゴーヤラーメンを紹介した際、身体に良いゴーヤと身体に悪いラーメンとで良悪が打ち消し合い、大好きなラーメンがなんぼでも食べられると書いたところ、各方面から医療人にあるまじき発言とひんしゆくを買ってしまいました。深く反省し、今回紹介するのは、ゴーヤ牛乳。牛乳にすりおろしたゴーヤを入れるだけ。牛乳は、低脂肪乳より濃厚牛乳がお勧めです。身体に良いゴーヤと身体に悪い濃厚…。ゴーヤの苦みと牛乳の甘みがかもし出すはあもにい。ゴーヤラーメンは3分待たねばなりません、こちらはすぐに食べられます。しかも、すりおろしたゴーヤを冷凍しておけば、冬でも堪能できます。ゴーヤ牛乳のおかげで1年中快調です。（IS）

「現状維持バイアス、現在バイアス
—行動経済学を役立てよう その2—

ジャパン EAP システムズ EAP 相談室

行動経済学とは

伝統的な経済学では、人は利己的で高い計算能力をもってすべての情報を用いた合理的な意志決定を行うもの（ホモエコノミカスと呼びます）として学問を構築してきました。けれど我々の意志決定は伝統的な経済学の考え方から外れる判断をすることも少なくなく、合理性から外れる判断、バイアス（bias。思考の偏り、考え方のクセ、先入観、思い込み）について研究しているのが行動経済学です。以前ご紹介したヒューリスティクスやサンクコスト・バイアスも行動経済学の概念の一つです。今回は現状維持バイアスと現在バイアスをご紹介します。

現状維持バイアスとは

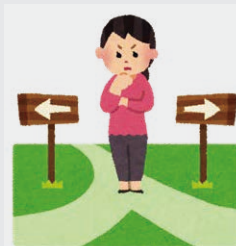
現状維持バイアス（status quo bias）とは、現在の状態を変えることは損をすると考えてしまうことです。たとえば学生時代、講堂で授業を受けるとき、座る席がけっこう決まっていなかったか？中学や高校と違って席は自由なのに、なぜか同じような席を選びがちです。あるいはたまたま見た転職サイトに、あなたとほぼ同じ仕事内容で、給料や待遇がかなりいい企業の情報が載っていました。その企業のサイトを見てみると経営状態もいいようです。しかし多くの人は待遇が良くなる期待よりも、うまくいかなかったらどうしようという不安のほうが大きく、なかなか転職に踏み切れないのではないのでしょうか。

ダイエットは明日から：現在バイアスとは

現状維持バイアスと似た言葉に現在バイアス（present bias）があります。これは先延ばしをしたくなる心理です。たとえば1か月で体重を4kg落としたいとしましょう。1週間に1kgです。1日に143gです。「でも今日はケーキ食べたい！143gくらい大したことない。ダイエットは明日から」と言って、結局ダイエットに失敗していませんか。私たちは目の前の利益を優先し、もっと大きな利益（この場合は健康や見た目）を小さく見積もってしまうことがあるのです。

バイアスの克服法

こういったバイアスは誰にも起こりえます。現在の選択に問題を感じないのであれば気にすることではありませんが、不満がある場合は対処を考えましょう。たとえば現状維持バイアスに気づいたら、まずは妥当な情報をたくさん集めましょう。そして成功する確率を見極めた上で、最後は決断の勇気が決め手になるかもしれません。現在バイアスについてはさまざまな工夫が考えられます。その方法をナッジ（Nudge）と呼んでいるのですが、次回以降、行動経済学のアイデアをご紹介しますので取り上げます。



参考情報

●行動経済学の使い方（大竹文雄、岩波新書）

※社会医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパン EAP システムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。

社会医療法人 創和会グループ

WEB版はこちら。
バックナンバーもご覧ください。➔

- | | | |
|-------------------|-------------------|------------------|
| ■ しげい病院 | ■ 倉敷しげい訪問看護ステーション | ■ 健康増進施設 はあもにい倉敷 |
| ■ 重井医学研究所附属病院 | ■ 倉敷しげい居宅介護支援事業所 | ■ 重井薬用植物園 |
| ■ 重井医学研究所 | ■ 岡山しげい訪問看護ステーション | ■ 倉敷昆虫館 |
| ■ 医療法人 三祥会 幸町記念病院 | ■ 岡山しげい居宅介護支援事業所 | |